

2020. February

Dentsply Sirona REPORT



茶屋が坂矯正歯科
(愛知県名古屋市)

瀟洒な住宅街の一角に「茶屋が坂矯正歯科」はある。
隣接する公園の木々と相まって、そのエリアに美しく馴染んでいる。
2019年7月に開業し、その新しい院内は木の香りが残る、
新しいながらも落ち着いた時間が流れている。
院長である鳥井先生は、矯正分野の認定医・専門医であり、
その若さと共に、地域へ高度な歯科医療の提供にまい進されている。
矯正専門医が新規に開業するにあたり、今まで大事にされてきたモノ、
これからも大事にするモノは何か、お話を伺った。

デンツプライシロナ株式会社

本社／〒106-0041 東京都港区麻布台1-8-10 麻布偕成ビル

■各ショールーム

■札幌	Tel : 011-709-5800	■横浜	Tel : 045-440-1521
■盛岡	Tel : 019-604-2340	■静岡	Tel : 054-653-2711
■庄内	Tel : 0235-29-1217	■名古屋	Tel : 052-251-8467
■仙台	Tel : 022-266-4020	■大阪	Tel : 06-6243-6636
■埼玉	Tel : 048-799-2931	■広島	Tel : 082-546-2301
■東京・銀座	Tel : 03-5148-7895	■福岡	Tel : 092-518-1800

BT 6314PD

矯正専門医が一番大事にするモノ

「代替治療」と「原因治療」

専門医としてご活躍されていますが、
これまでの診療分野の変容をお聞かせください。

学生のころから何か専門的な分野の技術を身に着けたいと思っていました。卒後、研修医として研鑽を積む中で、不良補綴物と重度の歯周病により食事すらままならない患者さんに会いました。骨格的にも下顎前突を呈しており今考えてみても難症例でした。入れ歯やインプラントなどの人工物を用いて、欠損を“代替”するという治療はほぼ確立されています。しかし、この患者さんのようなケースでは骨格的なズレが大きいためいくら代替治療を行っても根本的な問題を解決できないと感じさせられました。この患者さんとの出会いに

より骨格や顎態の重要性を認識し、歯科矯正学の分野へ踏み込んだのがきっかけでした。治療を家で例えるならば、虫歯や入れ歯などの治療は失った機能を回復するための「リフォーム」。壁や空間はとても綺麗になりますが、その構造を変えることは難しいです。一方で、矯正治療は「お家の新築」と言ったところでしょうか。こんな感じで患者さんにも説明しています(笑)
したがって、矯正治療は歯科治療の中でも原因を解決することができる治療のひとつであると思います。



矯正医がデンツプライシロナのユニットを導入された理由は？

開業まで矯正医として、多くの歯科医院に勤務し、様々なメーカーのユニットで治療を経験していますが、参考になった歯科医院がいくつかありました。それらの医院はクリニックの外装、内装も含め“いい年のとり方”をしている、と思ったのです。それがデンツプライシロナのユニットでした。経年劣化ではなく経年変化で使い込んだ味があり、一緒に年を重ねられるデザイン性に魅力を感じました。私が選んだユニットは「Sinus」で革張りのステッチが入っているものにしました。決して豪華なものが好きなのではなく、長い年月を使用してもその変化を楽しめるから、という理由です。

矯正治療においては、ユニットのトルク性能、サクション能力はさほど重要視されないかもしれませんが、参考になった歯科医院がいくつかありました。それらの医院はクリニックの外装、内装も含め“いい年のとり方”をしている、と思ったのです。それがデンツプライシロナのユニットでした。経年劣化ではなく経年変化で使い込んだ味があり、一緒に年を重ねられるデザイン性に魅力を感じました。私が選んだユニットは「Sinus」で革張りのステッチが入っているものにしました。決して豪華なものが好きなのではなく、長い年月を使用してもその変化を楽しめるから、という理由です。

なられるので、小さなこだわりの積み重ねは雰囲気、空気感、イメージとなり、その積み重ねが「なんか良い」「なんか他とは違うな」になるのだと思っています。

先に述べたように「一緒に年齢を重ねられる」「その変化を楽しむことができる」という点でユニットを選びましたが、デンツプライシロナのユニットは導入後もタービンやモーターなどをシームレスに増設できる拡張性もいいですね。開業時は様々なものにお金がかかりますから、ユニットの買い直しの必要もないし安心して選ぶことができました。



矯正治療にとって必要なモノとは

デンツプライシロナ CTの有用性は

矯正治療は、歯牙を移動させるので、歯根と歯槽骨の情報が正確に分かることが重要です。特に、8×8の撮影範囲は埋伏歯の確認や矯正用アンカースクリューの植立に適しています。CTの他に、矯正診断において重要な顎骨の前後的位置関係や水平的位置関係を診断することです。これに関しては立体的な骨格を二次元に置き換え撮影するセファロのほうが妥当であると考えています。カリエスを疑うときにはデンタルを撮るのと同じような感覚です。撮影範囲が大きなCTを用いた3D分析診断ツールなどもありますが、情報量が多すぎて矯正診断には不適当かもしれません。大は小を兼ねるとよく言いますが、CTに関しては多くの場面において、そのコストが結果に見合わないと思っています。
CT、セファロの画質はもちろんのこと、ソフトウェア、SIDEXIS 4(シデキス4)が秀逸です。コンサルテーションで使用するブラウジング「タイムラインビュー」は、直観的に撮影履歴を確認することができます。患者さんにも時間の流れと口腔内の変化が容易に確認していただけます。また、矯正用アンカースクリューを歯根間に植立する際にはSIDEXIS 4のインプラントシュミレーションを用いて事前に確認していま



す。アンカーのサイズなども細かく設定できるので非常に有用です。他にも、純正インプラントシミュレーションによる補綴医とのマッチアップなど。やはりデジタルが主軸のデンツプライシロナ製品は、周辺機器との関連、拡張性が見込めるのが最大の特長だと思っています。

安全かつ最善の治療を提供し続けるためには、導入する機械や治療方法は時代とニーズに応じて変えていく必要があります。と同時

に、私が専門とする矯正分野は、患者さんと一緒に共有する時間がとても長い治療です。長い付き合いだからこそ、友人や家族と過ごすような時間や雰囲気を、クリニックへ訪れていただく患者さんにも感じていただけたらと考えています。そのためには私自身が楽しむこと、そしてその楽しみをスタッフや患者さんとも共有できること、これこそが私が一番大切にしていることなのです。

